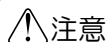
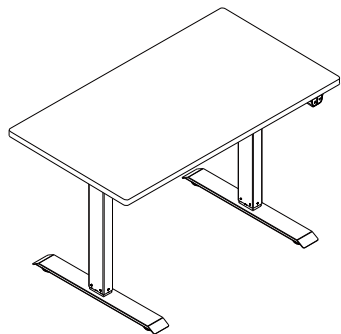


電動昇降デスク MTE21 組立説明書⑤

この度は当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前にこの組立説明書をよくお読みいただき、末永くご愛用いただけますよう、お願いいたします。お読みになったあとは大切に保管してください。



注意 組立の前に組立説明書を必ずお読みください。不適切な組立は重大な事故につながる可能性があります。また、重量がありますので、二人以上で組立ててください。

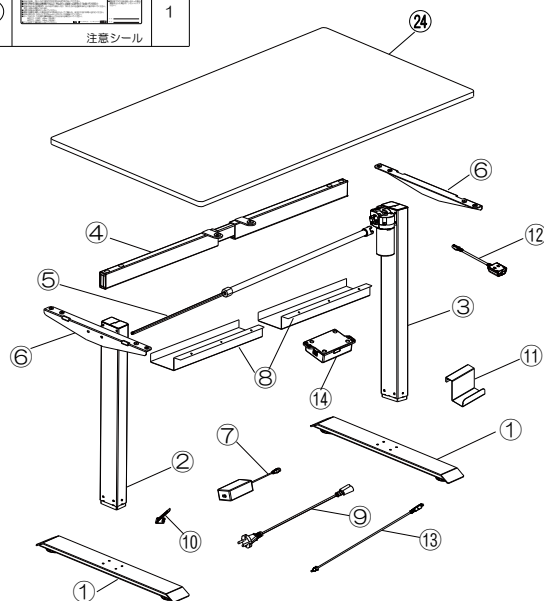


- 工具類の取扱いには十分ご注意ください。
- 組立の際は、お子様に注意し広い場所で行なってください。
- 組立の際は万が一に備え、軍手の着用をお願いいたします。
- 組立説明書に従って、組立してください。手順を間違えると組立たないことがあります。
- ボルトの部分は確実に組立してください。ボルトの締め付けが不十分ですと使用中に製品が破損してけがをすることがあります。
- 組立の際は、製品及び床面を傷つけないようにご注意ください。
- 配線コード類は傷をついたり、挟んだりしないよう、取扱いには十分ご注意ください。

部材・部品一覧

組立前に、組立部材・部品を確認してください。
プラスドライバー（1番）を用意してください。

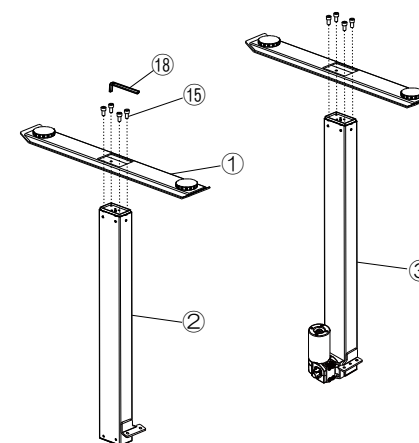
No.	部品	数量	No.	部品	数量	No.	部品	数量
①	脚ベース	2	⑫	スイッチ	1	⑫	配線フック固定ボルト：4.2×12	4
②	支柱	1	⑬	アダプタケーブル	1	⑭	天板	1
③	モーター付支柱	1	⑭	コントロールボックス	1	⑮	注意シール	1
④	接続フレーム	1	⑮	ボルトA：M6×16	12			
⑤	回転ロッド	1	⑯	ボルトB：M8×50	4			
⑥	天板受け	2	⑰	六角レンチ	1			
⑦	アダプタ	1	⑱	六角レンチ	1			
⑧	回転ロッドカバー	2	⑲	六角レンチ	1			
⑨	電源ケーブル	1	⑳	ボルトF：4.2×20	15			
⑩	配線フック	4	㉑	スパナG	1			
⑪	アダプタ受け金具	1	㉒	カバー固定ボルト：4×16	6			



※付属のボルトE ④個は使用しません。

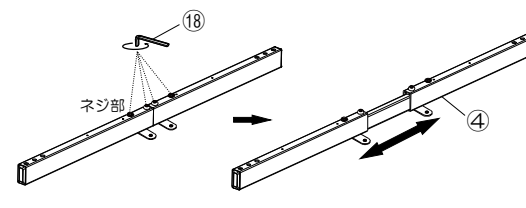
STEP 1

②支柱と③モーター付支柱を逆さにして置き、転倒しないように必ず支えてください。①脚ベースの取付穴位置と合わせ、⑮六角レンチで⑮ボルトAを仮締めした後、本締めしてください。

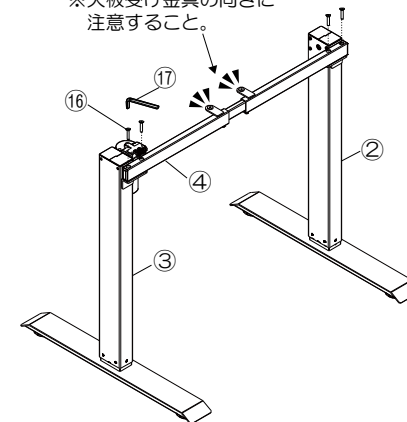


STEP 2

④接続フレームの4ヶ所のネジ部を⑮六角レンチで緩め、両側へ伸ばせるようにしてください。④接続フレームの緩めたネジ部が下向きになるよう反転させ、STEP 1 で組立てた状態の脚も反転させてください。④接続フレームの天板受け金具が内側になるよう、④接続フレームと②支柱・③モーター付支柱の取付穴位置を合わせ、⑰六角レンチで⑮ボルトBで仮締めしてください。

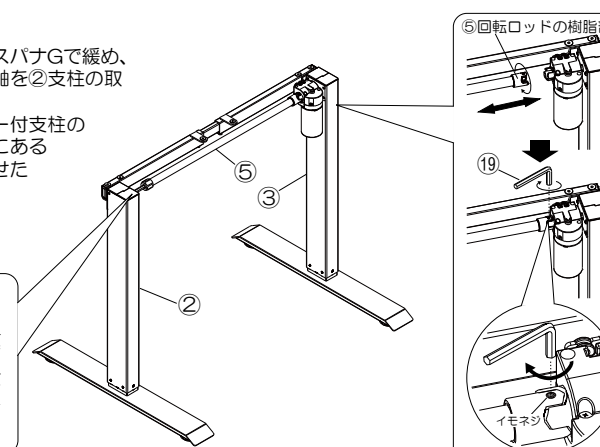
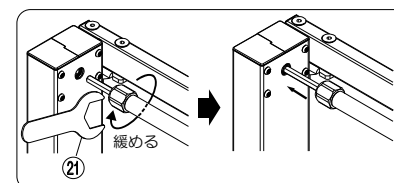


※天板受け金具の向きに注意すること。



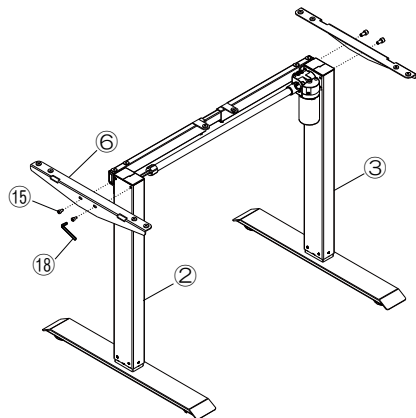
STEP 3

⑤回転ロッドの六角軸側にある六角部を⑱スパナGで締め、六角軸が伸ばせるようにします。その六角軸を②支柱の取付六角穴に差し込んでください。反対側の⑤回転ロッドの樹脂部を③モーター付支柱の樹脂部と噛み合うように取り付け、樹脂部にあるイモネジを⑲六角レンチで締め、噛み合わせた部分が抜けないようにしてください。



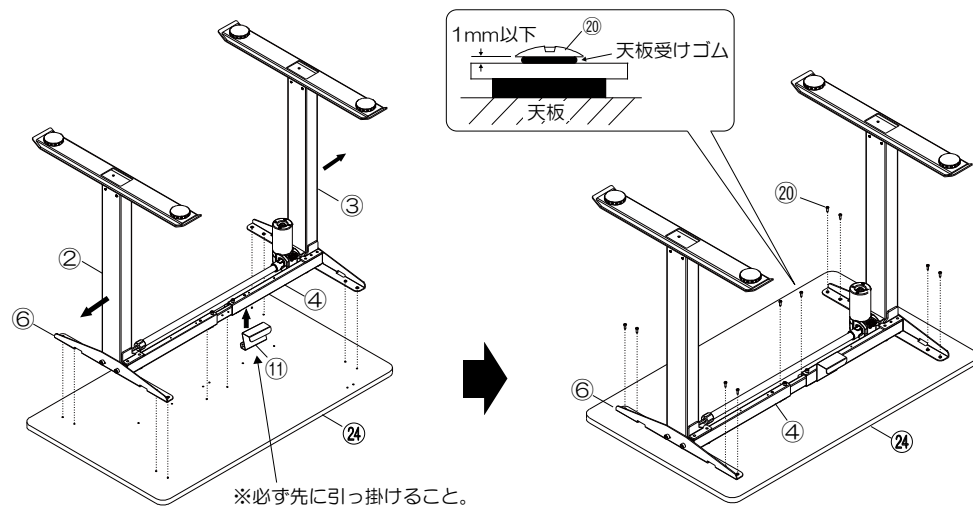
STEP 4

⑥天板受けを②支柱と③モーター付支柱の取付穴位置に合わせ、⑱六角レンチで⑮ボルトAを仮締めしてください。



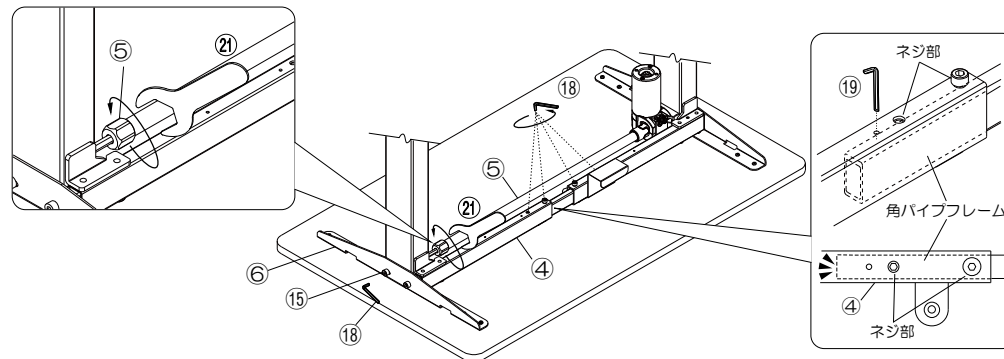
STEP 5

水平な台などの上に⑳天板の裏面を上向きにして置き、STEP 4 で組立てたフレームを逆さにして、その上に置きます。
 ⑪アダプタ受け金具を③モーター付支柱側の④接続フレームに引っ掛けてください。
 ㉑天板の穴位置に合うように、フレームの②支柱と③モーター付支柱を持って外側へ引き延ばしてください。㉑天板と⑥天板受け・④接続フレームの穴位置を合わせたら、㉑ボルトFを差し込み、天板受けゴムが1mm以下になるまで潰すように、プラスドライバーで㉑ボルトFを仮締めした後、本締めしてください。



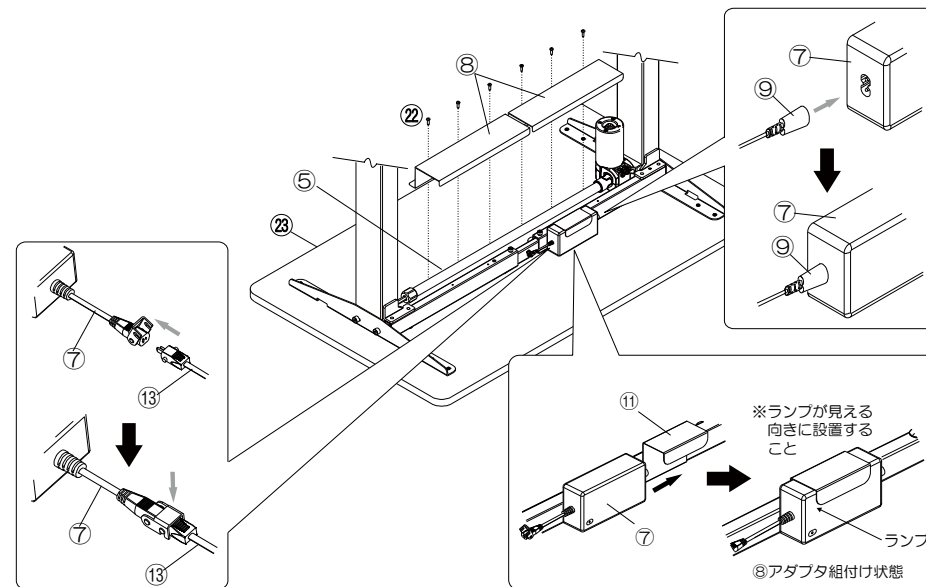
STEP 6

④接続フレームのネジ部の付近にある小さな穴に⑱六角レンチを差し込み、④接続フレームの中にある角パイプフレームに当たる事を確認してください。当たらず、⑱六角レンチが奥まで入ってしまう場合は角パイプフレームを左右に動かして調整してください。反対側も同様の作業をしてください。⑱六角レンチで④接続フレームのネジ部4ヶ所を本締めし、⑥天板受けの仮締めしていた⑮ボルトAも本締めしてください。全て本締めしたら、㉑スバナGで㉑回転ロッドの六角軸側にある六角部を本締めしてください。



STEP 7

㉑回転ロッドの上に㉑回転ロッドカバーと㉑天板の穴位置を合わせながら被せ、プラスドライバーを使って㉑カバー固定ボルトで固定してください。⑪アダプタ受け金具に⑦アダプタを差し込むように設置してください。設置後、㉑電源ケーブルと㉑アダプタケーブルを⑦アダプタに接続してください。

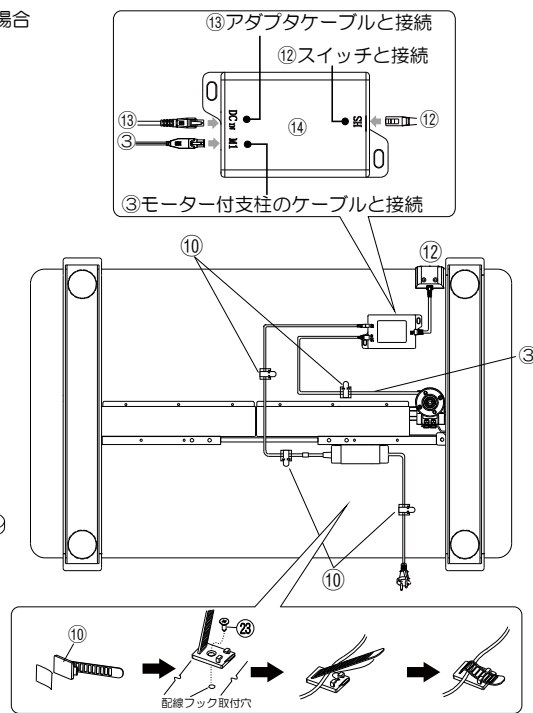
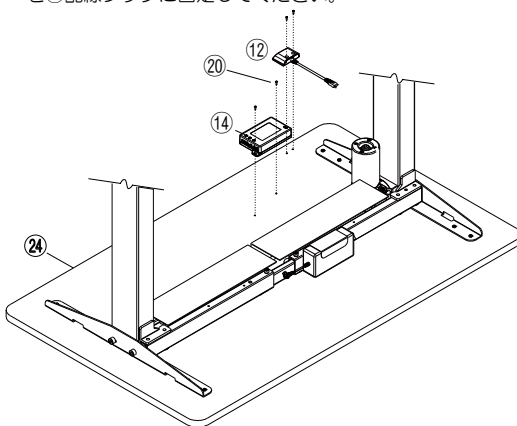


STEP 8-1 デスクの右側に⑫スイッチを設置する場合

右記図の配置のように⑭天板裏面の取付穴と⑫スイッチと⑭コントロールボックスの取付穴を合わせ、プラスドライバーを使って⑳ボルトFで固定してください。

⑭コントロールボックスに③モーター付支柱のケーブル、⑫スイッチのケーブル、⑬アダプタケーブルを接続してください。

⑩配線フックの両面テープのフィルムを剥がし、⑩配線フックの皿孔と⑭天板裏面にある配線フック取付穴の位置を合わせたら接着し、プラスドライバーを使って㉑配線フック固定ビスで固定してください。その後に各配線を⑩配線フックに固定してください。

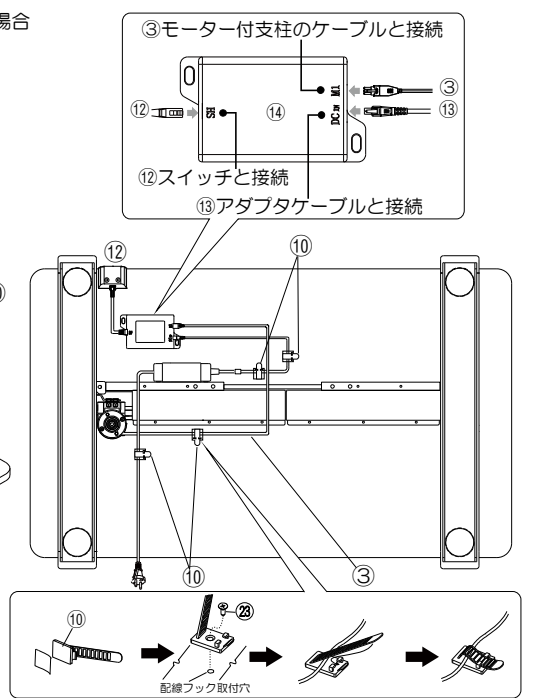
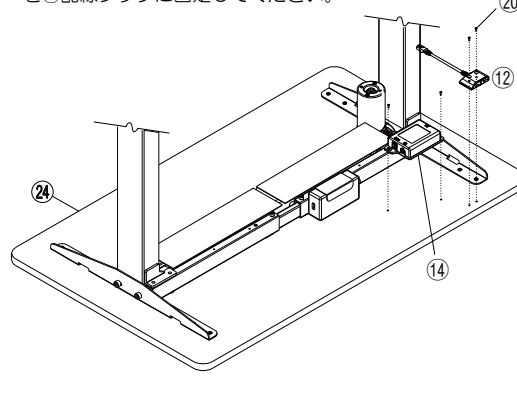


STEP 8-2 デスクの左側に⑫スイッチを設置する場合

右記図の配置のように⑭天板裏面の取付穴と⑫スイッチと⑭コントロールボックスの取付穴を合わせ、プラスドライバーを使って⑳ボルトFで固定してください。

⑭コントロールボックスに③モーター付支柱のケーブル、⑫スイッチのケーブル、⑬アダプタケーブルを接続してください。

⑩配線フックの両面テープのフィルムを剥がし、⑩配線フックの皿孔と⑭天板裏面にある配線フック取付穴の位置を合わせたら接着し、プラスドライバーを使って㉑配線フック固定ビスで固定してください。その後に各配線を⑩配線フックに固定してください。

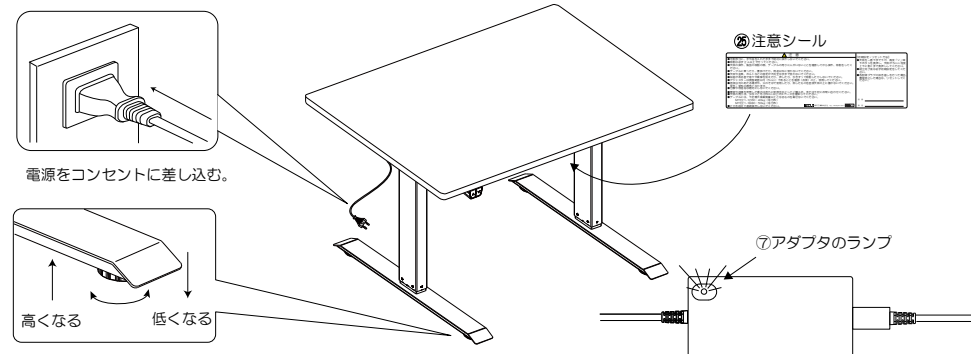


STEP 9

⑩配線フックに固定が完了したら、デスクを2人以上で起こしてください。デスクにガタツキがあれば、①脚ベースのアジャスターで調整してください。(調整範囲: 5mm)

㉒注意シールを天板裏面のお好みの位置に貼って下さい。

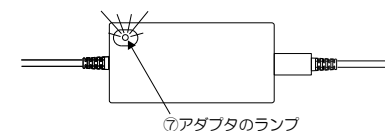
⑨電源ケーブルのプラグをコンセントに差し込み、⑦アダプタのランプが点灯しているか確認してください。



STEP 10 【初期設定】

1. ⑦アダプタのランプの確認

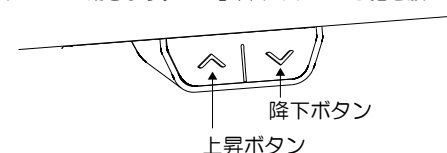
⑦アダプタのランプが点灯しているか確認してください。



2. 初期リセットの操作 (初めは必ず行ってください。)

「V」降下ボタンを長押しして天板を一番下まで下げてください。

天板が一番下まで下がった状態になったら、一度「V」降下ボタンから指を離し、再度「V」降下ボタンを長押し下さい。5秒以上長押しすると天板が上下に5mm動きます。「V」降下ボタンから指を放して完了です。



3. 脚部 (天板) の上昇・降下操作

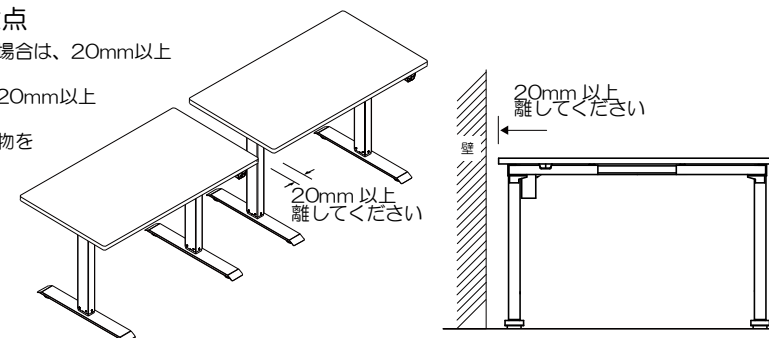
リセット後、「^」上昇ボタンや「V」降下ボタンを押し、正常に動作しているか確認してください。

■設置における注意点

テーブルを並べて配置する場合は、20mm以上離してください

壁など障害物がある場合、20mm以上離して設置してください。

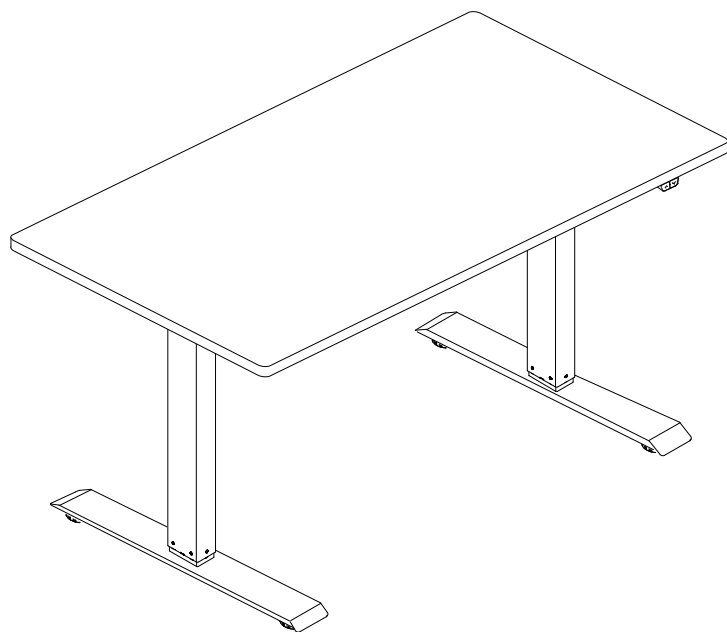
テーブルの周辺には、障害物を置かないでください。



ご使用のお客様へ

取扱説明書⑤

MTE21 電動昇降デスク



- この度は当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
- この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書はお使いになる方が、いつでも見ることができるよう大切に保管してください。

保管用

2021.10

目 次

安全上のご注意	3
警告	3
注意	4
はじめに	5
使用上の注意	5
お願い	6
お手入れ方法	6
廃棄について	6
部品名称	7
基本操作説明	8
確認	8
初期設定・リセット方法	8
操作方法	8
機能説明	9
高さ調節機能	9
衝突感知機能	9
衝突感知オン / オフ機能	9
設置における注意点	9
トラブルシューティング	10
技術仕様	11

安全上のご注意

ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、お使いになる方や他の方々への危害や損害を未然に防止するため
のもので、「警告」「注意」に分けて説明しています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重症に結びつく可能性のあるもの。
 注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋、家財などの損害に結びつくもの。

本文中に使われている図記号の意味は次のとおりです。

 禁止	 分解禁止	 破損注意	 感電注意
 水濡れ禁止	 風呂、シャワー 室での使用禁止	 指はさみ注意	 発火注意
 濡れ手禁止	 一般指示	 電源プラグを 抜いてください	 換気してください

警告



内部を開けない・分解しない  

修理技術者以外は、絶対に分解・修理・改造はしないでください。
破損・異常動作をして、けが・感電する恐れがあります。修理はお買い上げの販売店または藤沢工業
にお問い合わせください。



水濡れ禁止 

本体や電源コード、スイッチに水をかけたり、濡らしたりしないでください。
ショート・感電する恐れがあります。



濡れた手で触らない 

濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。ショート・感電する恐れがあります。



異常状態のまま使用はしない  

万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因
となります。すぐにプラグをコンセントから抜いてください。
煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げの販売店または、藤沢工業に修理を依頼してください。
お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



異物を入れない   

コントロールボックス・スイッチ・センサーなど、全ての隙間にピンや針金などの金属物や異物を入
れないでください。故障、断線、感電、発火、火災の原因になります。

警告

電源コードの取り扱い

- 電源コード・電源プラグが痛んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでくださ
い。ショート・感電・発火の原因になります。
- 電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねて通電したりし
ないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 交流 100V 以外では使用しないでください。自家用発電機などは使用しないでください。
コンセント部が異常発電し、感電、火災の原因になります。
- 延長コードにほつれがある場合は使用しないでください。
異常がある状態で使用すると、断線、感電、発火、火災の原因になります。
- 電源プラグのほこりなどを定期的にとってください。
プラグにほこりがたまると湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。
- 延長コードを使用するときは、15A 仕様の規格品を使用してください。
規格品以外の延長コードを使用した場合、発火の原因になります。
- 電源コードは転用せず、必ず付属のものを使用してください。接触が悪いと故障や発熱の原因に
なります。



接続を確認してください

各接続部は安全のため、確実に接続されていることを確認してから使用してください。
接続が不十分なまま使用すると、感電、火災、事故の原因になります。

注意



移動は二人以上で行ってください

移動は電源プラグをコンセントから抜いて、必ず二人以上で行ってください。
倒れてけがをすることがあります。

使用上の注意



- 天板を上下するときは、テーブルの周りに人がいないことを確認してから操作してください。
天板を上下するときは、可動部や隙間に手を入れないでください。けがをする恐れがあります。
- テーブルの上に合計で最大積載質量40kg（等分布）以上となるものを載せないでください。
変形、破損及び落下してケガをすることがあります。
- アジャスターは、調整範囲以内（5mm）であることを確認（点検）の上、使用してください。
- 用途以外では使用しないでください。けがをすることがあります。



設置場所について

- 直射日光や、ストーブなどの高熱を避けてください。変形、変色及び火災の原因になります。
- 高熱のものを直接テーブルの上に置かないでください。変形、変色、破損の原因になります。
- 本製品は室内用です。野外、シャワー室など水のかかる所では使用しないでください。また、
湿気、乾燥の著しいところも避けてください。天板がたわんだり、変形することがあります。



不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがや破損の原因となりま
す。平坦な面に置いてガタツキがある場合はアジャスターで調整してください。

⚠ 注意



禁止

幼児にテーブルを操作させないでください。

幼児にテーブルを操作させたり、テーブルが動作しているときは、幼児を近づけさせないでください。



電源プラグを
抜いてください

お手入れ時の注意

クリーニング前には必ずコンセントから、電源プラグを抜いてください。



禁止

スプレーなどをかけない（殺虫剤、整髪料、潤滑剤など）
エアゾール（スプレー）製品をテーブルに使用しないでください。



禁止

複数の製品を並べて使用しない



複数の製品を並べて使用しないでください。昇降時に指をはさみ、けがをする恐れがあります。

はじめに

本書は電動昇降デスク MTE21 の取扱説明書です。

MTE21 は高さ調節可能な電動昇降デスクです。昇降システムは高さ調節可能な支柱脚構造の内部に組み付けられ、支柱脚はコントロールボックスからの信号によって動作します。テーブルの天板を組み付けた後、オフィスデスク、ワークステーションとして使用することを目的とし、高さ調節はお客様が様々な位置で作業できるよう設計されています。



使用上の注意

【重要】

- △ 連続最大 2 分を超えて操作しないでください。
- △ 製品の最大積載質量は 40 kg（等分布）です。それ以上の負荷をかけると、恒久的な損傷を与える可能性があります。
- △ 上下の調整をする場合、人や物が製品と衝突しないように注意してください。
- △ 製品の天板の周りに少なくとも 20mm 以上の空きスペースを確保してください。
- △ 製品には乗らないでください。人のリフトとして使用しないでください。
- △ 製品を移動する場合、引きずらないでください。また、製品を持ち上げるときはフレームをねじらないでください。

お願い

健康な空気質の確保のために換気励行のお願い



換気してください

1. 製品購入時の注意事項

購入当初は、化学物質の発散が多いことがあります。しばらくの間は、換気や通気を十分に行うように心掛けてください。室内の換気が十分に行われないと室内化学物質濃度が高まり健康に影響を及ぼすことがあります。

2. 温度や湿度の変化による換気の励行

室内が著しく高温多湿になる場合（温度 28℃、相対湿度 50%超が目安）には、窓を閉め切らないようにするか、強制換気を行ってください。室内化学物質濃度が高まり、健康に影響を及ぼすことがあります。

お手入れ方法



・通常は柔らかい布で乾拭きしてください。汚れた場合は水に薄めた中性洗剤を使用し、よく絞った布で汚れを拭き取り、洗剤が残らないように水に浸し固く絞った布で汚れを拭き取り、その後柔らかい布で乾拭きしてください。

※ シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉類は使用しないでください。

・定期的にボルトの点検をし、緩みがある場合は締め直しをしてください。

※ 安全のためお手入れ時は電源プラグをコンセントから抜いてください。

廃棄について



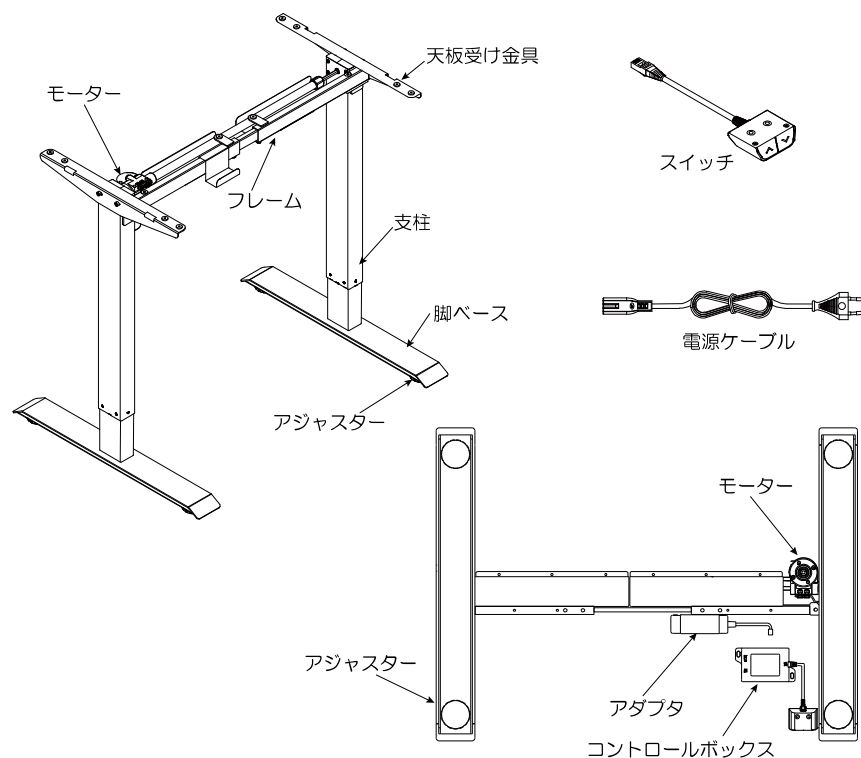
左記のマークは製品を他の家庭ゴミと一緒に廃棄してはならないことを示しています。

製品の廃棄については専門業者にお任せするか、販売店へご相談ください。

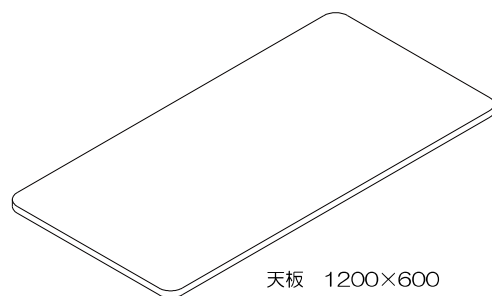
焼却すると有毒ガスが発生することがあります。

部品名称

ユニット脚：MTE21-SLEG



天板：MTE21-1260T

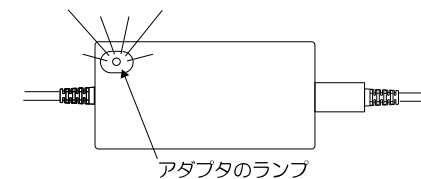


● 組立は組立説明書を必ずご覧になり、2人以上で組立してください。

基本操作説明

【確認】

配線がすべて完了し、電源コードをコンセントに差し込んだ際、天板裏のアダプタのランプが緑色に点灯しているか確認してください。



まずはじめにリセットが必要です。

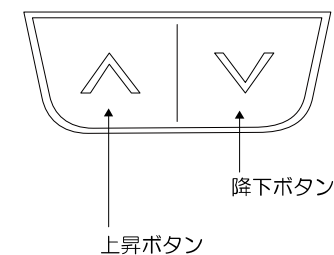
各配線プラグの抜き差しを行った際、または異常停止した場合もリセットが必要です。

【初期設定・リセット方法】

スイッチの「V」降下ボタンを長押しして天板を一番下まで下げてください。天板が一番下まで下がった状態になったら、指を放し、再度「V」降下ボタンを長押し下さい。5秒以上長押しすると天板が上下に4mmほど動きます。その後「V」降下ボタンから指を放して完了です。

【操作方法】

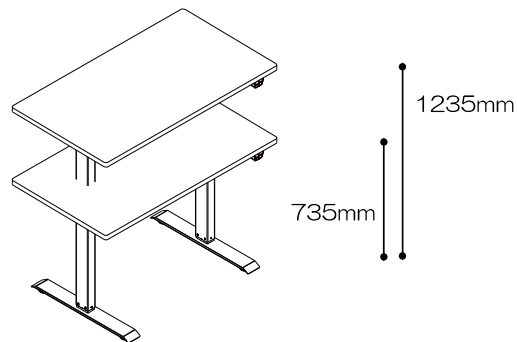
「^」上昇ボタンおよび「V」降下ボタンを押して上下操作をしてください。



機能説明

【高さ調節機能】

スイッチで天板の高さを調節できます。
高さ調節範囲 735mm～1235mm



【衝突感知機能】

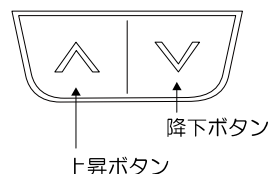
天板が上昇中、もしくは降下中に 20kg 以上の衝撃が加わると、天板が反対方向に 40mm ほど動いた後、止まります。

【衝突感知オン / オフ機能】

「∧」上昇ボタンと「∨」降下ボタンを同時に 5 秒間長押しすると、オンやオフにすることができます。オンもしくはオフの確認は、天板を上昇もしくは降下している最中に、天板の表面に手で叩くなどの衝撃を加えてください。天板が反対方向へ動いたらオンになっています。

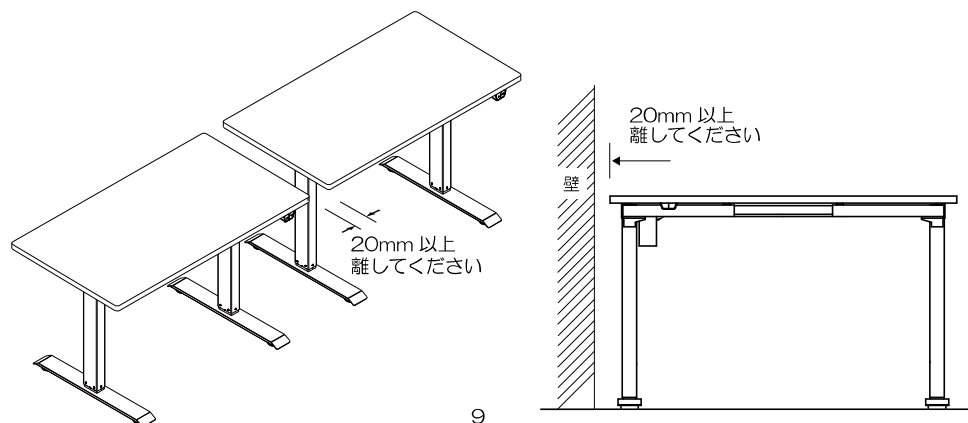
※初期設定は「オン」になっています。

- ⚠ 注意** 衝突防止が起動されない状況
1. 衝突物が柔らかいものの場合
 2. 衝突感知機能が感知オフになっている場合



設置における注意点

テーブルを並べて配置する場合は、20mm 以上離してください。
壁など障害物がある場合、20mm 以上離して設置してください。
テーブルの周辺には、障害物を置かないでください。



トラブルシューティング

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に次の事をご確認ください。

⚠ 警告 ● 分解・修理・改造はおやめください。

状態	ご確認ください	解決方法
高さ調節機能が動作しない。	・電源コードが正しい電圧のコンセントに接続されているか確認してください。 ・コントロールボックスのランプが点灯しているか確認してください。 ・全てのプラグがコントロールボックスに正しく装着されていることを確認してください。 ・ケーブル、コントロールボックス、支柱脚に目に見える損傷があるか確認してください。 ・2 分を超えて連続操作されているか確認してください。 ・モーターが高温になっていないか確認してください。	・正しい電圧（100V）に接続してください。 ・ランプがついていない場合は、ケーブルやコントロールボックスが損傷していないかまたは正しく接続されているか確認が必要です。 ・全ての接続が正しいことを確認してください。（組立説明書を参照してください） ・製品を 18 分以上休ませてからご使用ください。 ・損傷した部品は交換が必要です。販売店にご連絡ください。
フレームが不規則の動作をする。又は傾斜している。	・障害物に接触していないか確認してください。 ・ケーブル、コントロールボックス、支柱脚に目に見える損傷があるか確認してください。	・障害物を取り除き、リセットを行ってください。（P.8 参照）
フレームが降下しきしない。	・すでに最大高さに達していないか確認してください。 ・フレームが過負荷状態になっていないか可能性してください。	・天板を下げてからもう一度実行してください。 ・負荷を軽くして、リセットを行ってください。（P.8 参照）
フレームが常に最大高さに達する前に、同じ位置で停止する。	・降下ボタンを押して動作するか確認してください。	・リセットを行ってから上昇または降下ボタンを押して動作させてください。（P.8 参照）
フレームが下がる時にすべての支柱が正常に動作しない。	・動作していない支柱は故障している可能性があります。または支柱のケーブル接続が正常ではない可能性があります。	・全ての接続を確認し、リセットを行ってください。リセット後支柱脚が上昇しない場合は故障している可能性があります。
フレームは過負荷でもないのに、降下しき実行されない。	・天板やフレームが何かに接触していないか確認してください。 ・すでに最大の高さに達していないか確認してください。	・障害物を取り除き、リセットを行ってください。（P.8 参照） ・天板を下げてからもう一度実行してください。

※ 解決策が有効でない場合、販売店または藤沢工業にご連絡ください。

技術仕様

品 番	幅 (mm)	奥行 (mm)	高さ (mm)	質量 (kg)	構 造 部 材
MTE21□-1260	1200	650	735~1235	31.8	天板 : 25mm厚低圧メラミン樹脂化粧板 パーティクルボード PVCエッジ 脚部 : 鋼板・粉体塗装 脚支柱 : スチールパイプ・粉体塗装

最低寸法	735mm
最高寸法	1235mm
ストローク	500mm
許容負荷	40kg まで (等分布)
使用頻度	2 分間連続操作後、18 分以上停止が必要
使用温度範囲	0 ~ 40℃
入力電圧	100-240V 50/60Hz
最大昇降速度	25mm/s

●品質改善のため、予告なく本体外観、仕様などを変更することがあります。あらかじめご了承ください。

保証期間

目的以外の使用、取扱い上の不注意、乱暴な使用による故障などを除き、通常の使用状態における本製品の保証期間は、お買い上げいただいた日から1年となっております。

■ 製品に関するお問い合わせは、ご購入店、または下記にお願いいたします。

藤沢工業株式会社

本社：岐阜市日野南7-1-7 TEL：058（247）3311
東京：東京都中央区八丁堀2-8-2 八丁堀共同ビル3F TEL：03（3552）8824
大阪：大阪市中央区安堂寺町2-2-11 NTビル7F TEL：06（6761）5511
九州：福岡市博多区山王1-16-26 筑紫センタービル205 TEL：092（433）5599

メモ